

12-2 ヘッドチェックの実行

本体に電源を入れると自動的にヘッドチェックを行います。

「ヘッド切れ」と表示した場合は、いずれかのキーを押すと、ラベルは発行できますが、サーマルヘッドの故障です。

販売店またはメーカーにご連絡下さい。

- ◆ヘッドチェックは目安です。「ヘッド切れ」と表示した場合でも、テスト印字が正常だったり、テスト印字が異常でも「ヘッド切れ」を表示しない場合があります。

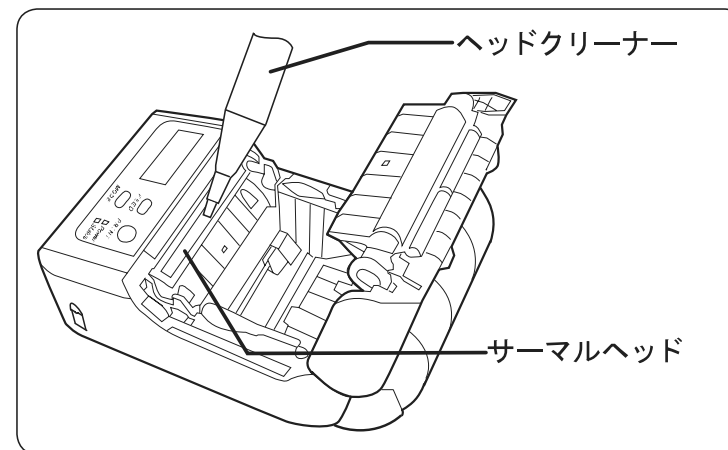
その場合は、テスト印字を優先して下さい。

12-3 サーマルヘッドのクリーニング

印字ヘッドに糊やゴミが付着すると、正常な印字ができなくなりますので、定期的にサーマルヘッドのクリーニングをして下さい。

- ① カバー開閉レバーを下に押し下げて、カバーを開けて、ラベルを取り出します。
- ② 毎日ご使用の際は、サーマルヘッドにゴミなどが付着していないか点検して下さい。
- ③ 付着物がある場合は、付属のヘッドクリーナーでクリーニングした後で、柔らかい布で丁寧に拭き取って下さい。

- ④ ヘッドクリーナーが汚れましたら、汚れた部分をカットして使用して下さい。



⚠ 注意

- ◆サーマルヘッド用と指定されているヘッドクリーナー以外は、使用しないで下さい。
- ◆ドライバーなどの先の硬いもので付着物を取り除こうとすると、サーマルヘッドの損傷の原因になりますので、絶対に行わないで下さい。
- ◆印字の直後など、サーマルヘッドが高温になっている場合は、クリーニングをしないで下さい。火傷の原因になります。

- ⑤ サーマルヘッドのクリーニング後にテスト印字を行って下さい。テストパターンに白抜けがないことを確認して下さい。